

「住み続けたいまち・千葉市」をつくるために 市民1万人のまちづくりアンケート報告書

◆調査項目◆

1. 生活満足度の状況
2. 生活行動の状況
3. まちづくりにおける施策の重要度
4. 暮らし向きの変化（5年前との比較）
5. 生活環境の変化（5年前との比較）

平成21年12月
千 葉 市

調査の概要

このアンケートは、千葉市の今後のまちづくりに向けて、市民の生活環境に対する満足度やまちづくりに関する意見などをうかがい、政策評価や次期実施計画の策定に役立てるために実施しました。

◆調査対象

住民基本台帳及び外国人登録原票から、無作為抽出した市内に在住する13歳以上の市民1万人を対象としました。

◆調査時期

平成21年7月15日（水）～8月7日（金）

◆回収率と回収数

35.4%（3,507件）

【参考：平成16年度調査】35.1%（3,521件）

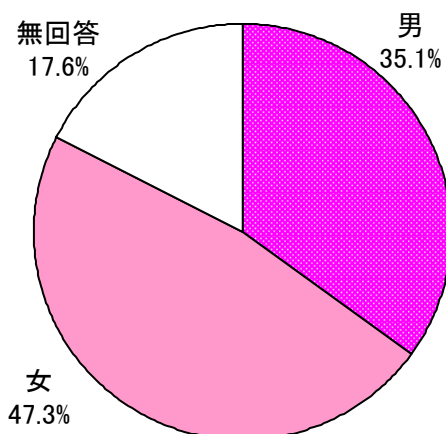
ご覧いただく際の注意事項

- 図表中の（n=*（*は自然数））は、集計母数を表しています。
- 回答比率（%）は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの回答比率を合計すると100%を超えることがあります。
- 回答比率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、属性ごとの回答比率の合計が、100%にならないことがあります。

回答者の属性

■性別

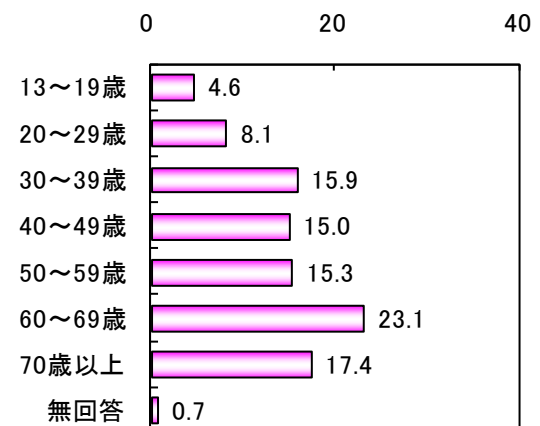
(n=3,507)



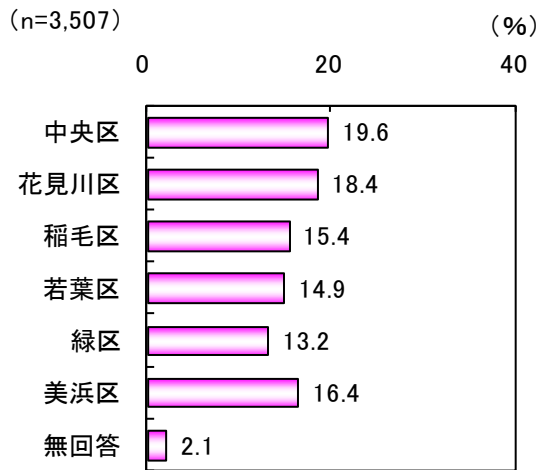
■年齢

(n=3,507)

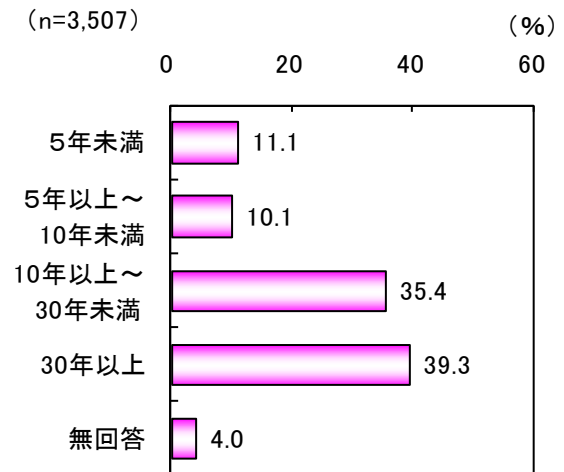
(%)



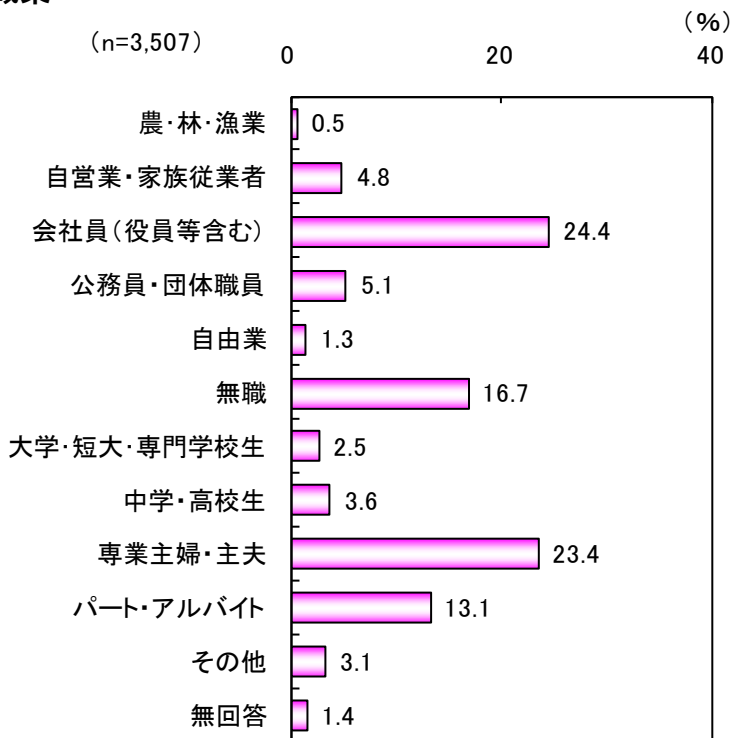
■居住区



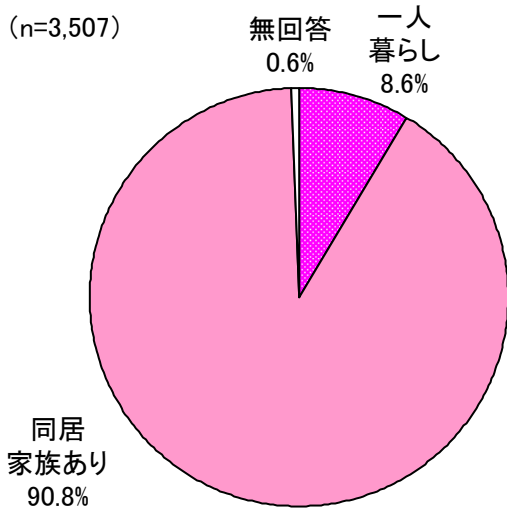
■市内在住期間



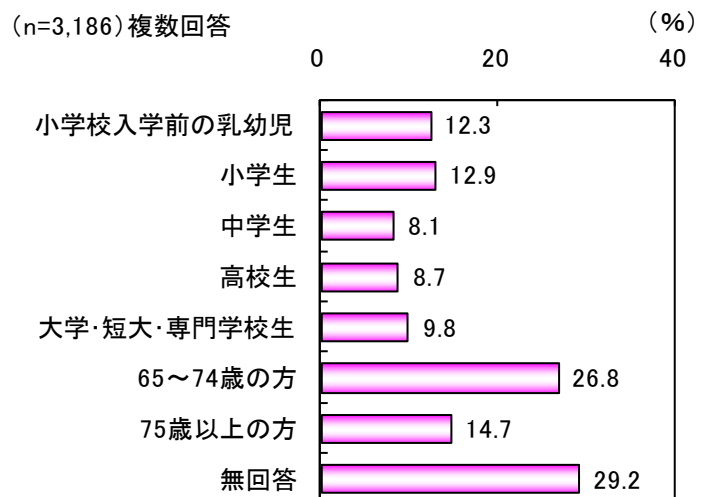
■職業



■世帯構成

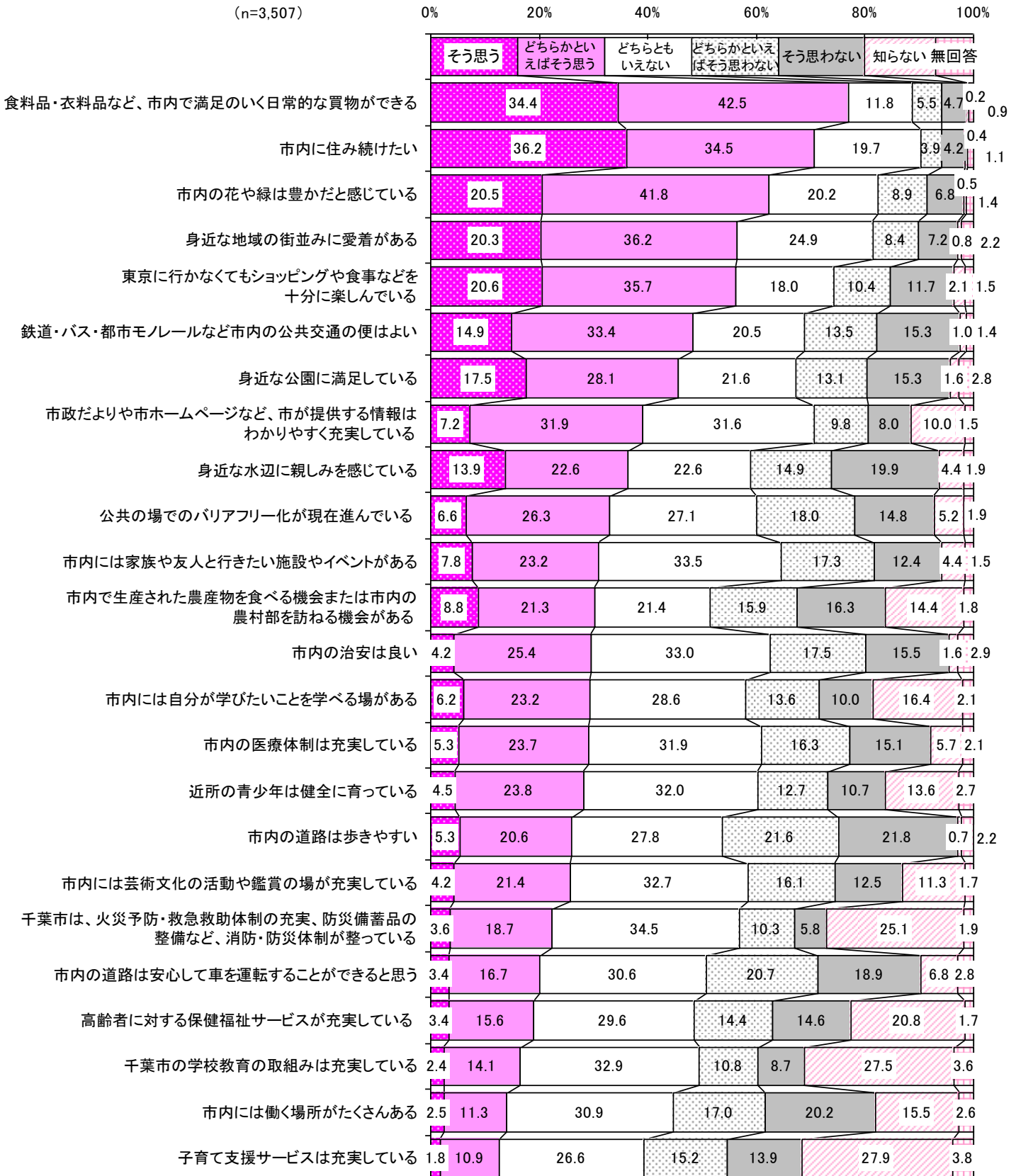


■同居家族



調査結果

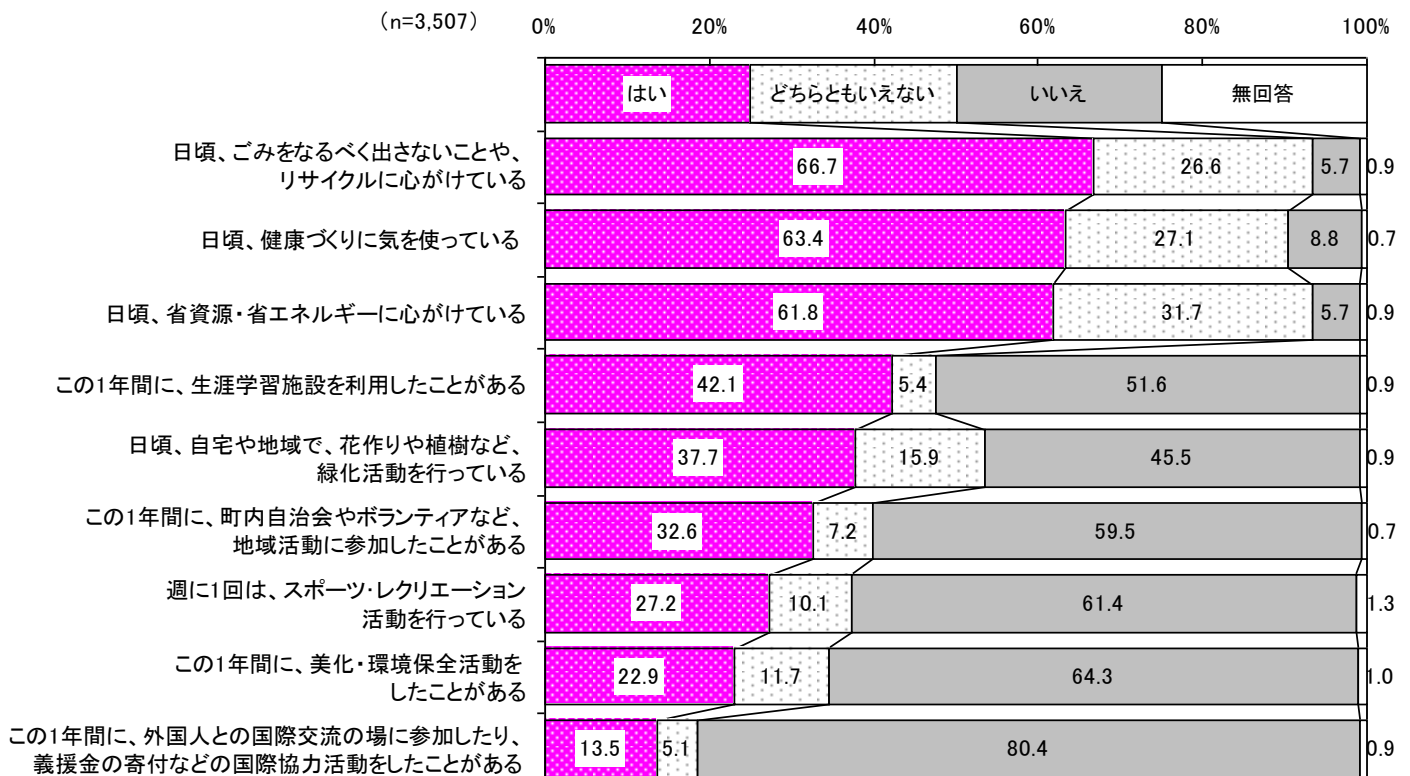
1. 生活満足度の状況



○現在の千葉市の生活環境に対する市民の評価をみると、「日常的な買い物の便利さ」「市内への定住意向」「花や緑の豊かさ」「地域の街並みへの愛着」「ショッピングや食事などの楽しさ」に対する評価が高くなっており、これらについて市民の生活満足度が高いことがうかがえます。

○その一方、「子育て支援サービス」、「働く場所」、「学校教育」、「高齢者に対する保健福祉サービス」、「市内道路における車の運転のしやすさ」に対する評価は低くなっています。

2. 生活行動の状況

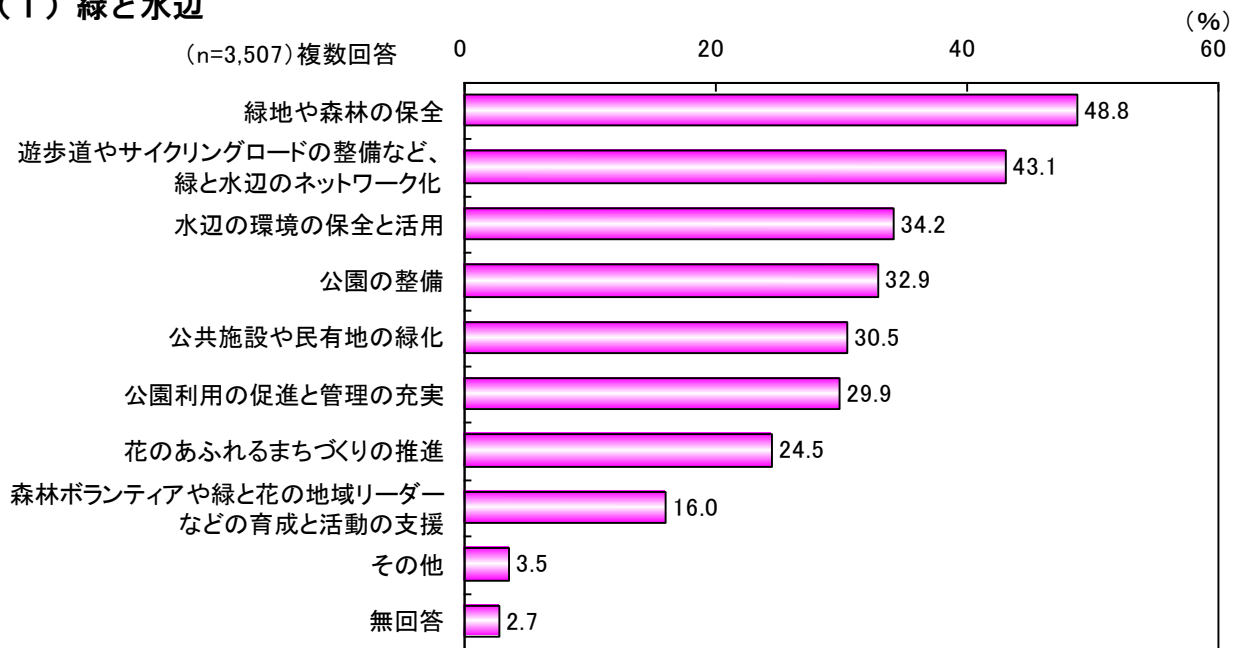


○市民の生活行動をみると、「ごみの減量やリサイクル」「健康づくり」「省資源・省エネルギー」に対する市民の意識が高くなっており、日常的にこれらに取り組んでいる人の多いことがわかります。

○その一方、「国際協力活動」、「美化・環境保全活動」、「スポーツ・レクリエーション活動」については、日常的な取り組みが少なくなっています。

3. まちづくりにおける施策の重要度

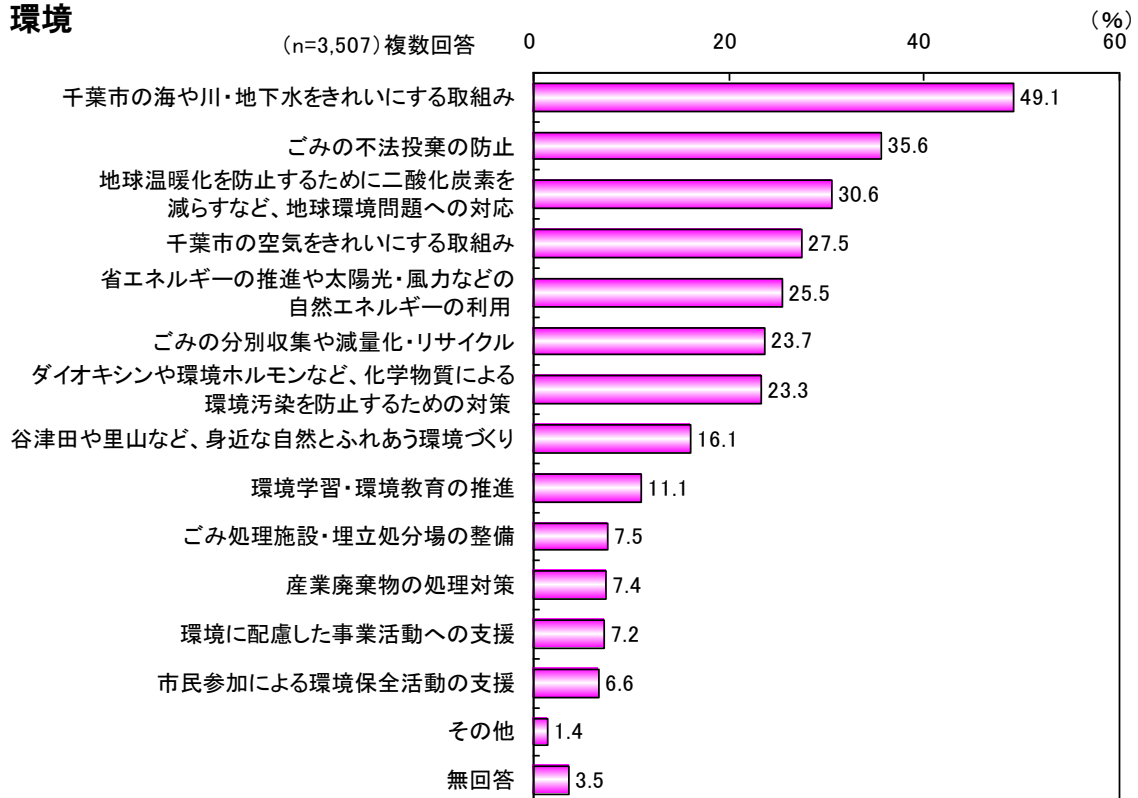
(1) 緑と水辺



○「緑地や森林の保全」が最も多く、次いで「遊歩道やサイクリングロードの整備など、緑と水辺のネットワーク化」、「水辺の環境の保全と活用」となっています。

○その一方、「森林ボランティアや緑と花の地域リーダーなどの育成と活動の支援」、「花のあふれるまちづくりの推進」が少なくなっています。

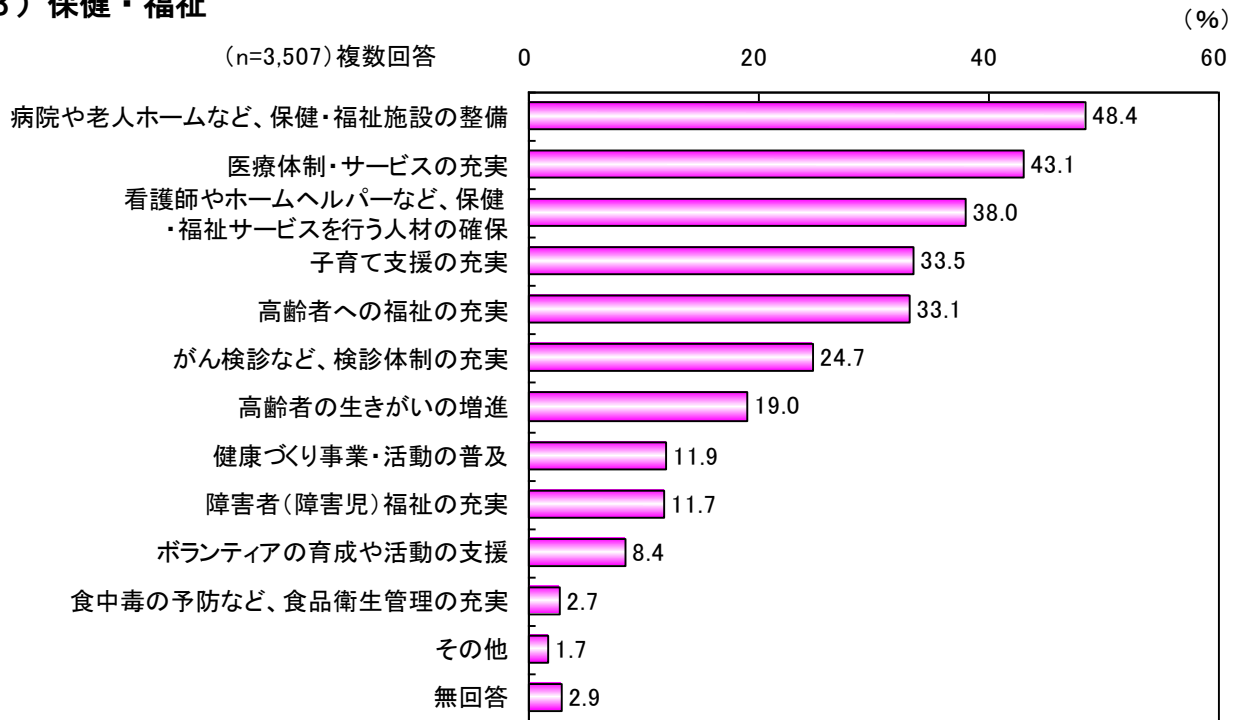
(2) 環境



○「千葉市の海や川・地下水をきれいにする取組み」が最も多く、次いで「ごみの不法投棄の防止」「地球温暖化を防止するために二酸化炭素を減らすなど、地球環境問題への対応」となっています。

○その一方、「市民参加による環境保全活動の支援」などが少なくなっています。

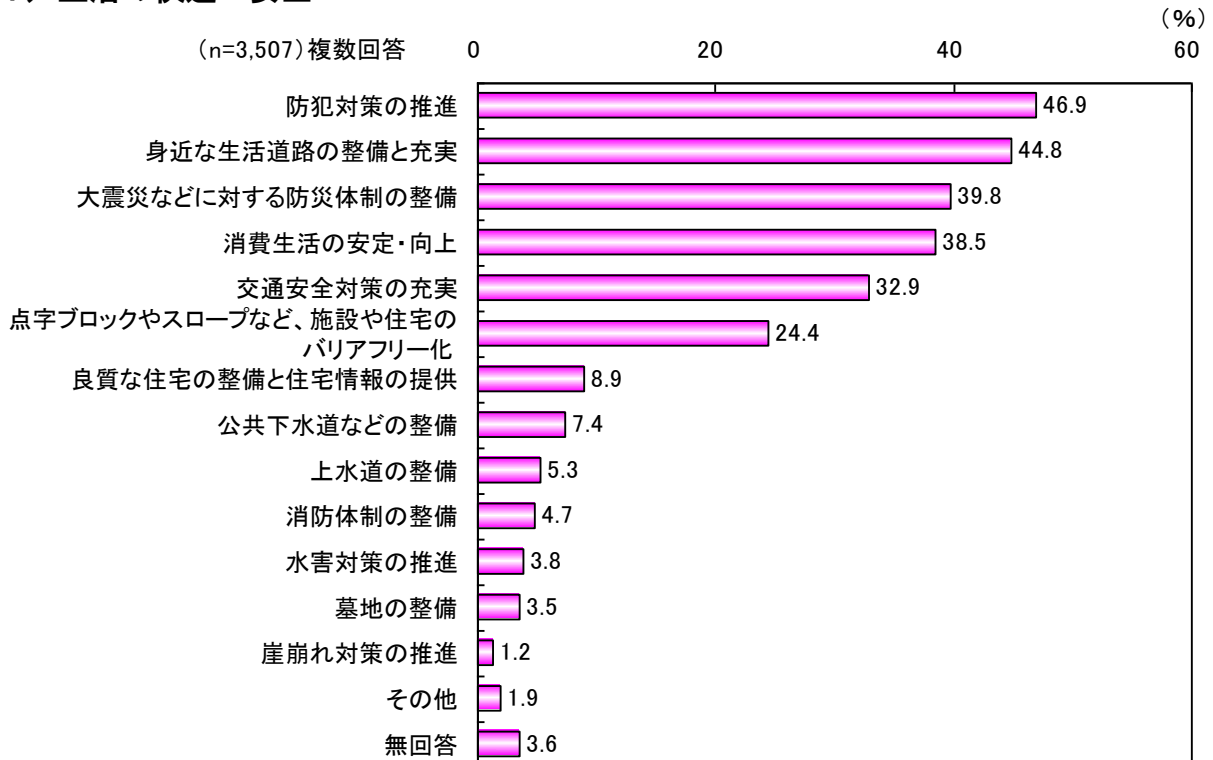
(3) 保健・福祉



○「病院や老人ホームなど、保健・福祉施設の整備」が最も多く、次いで「医療体制・サービスの充実」、「看護師やホームヘルパーなど、保健・福祉サービスを行う人材の確保」、「子育て支援の充実」、「高齢者への福祉の充実」となっています。

○その一方、「食中毒の予防など、食品衛生管理の充実」が少なくなっています。

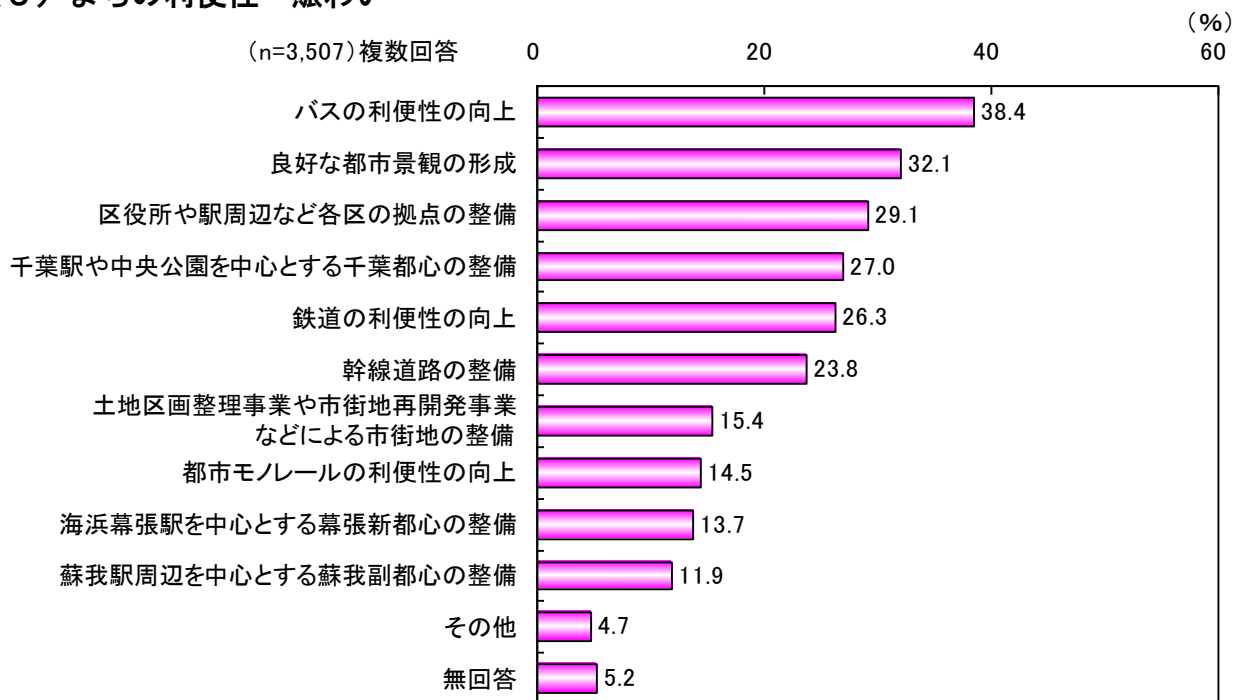
(4) 生活の快適・安全



○「防犯対策の推進」が最も多く、次いで「身近な生活道路の整備と充実」、「大震災などに対する防災体制の整備」、「消費生活の安定・向上」となっています。

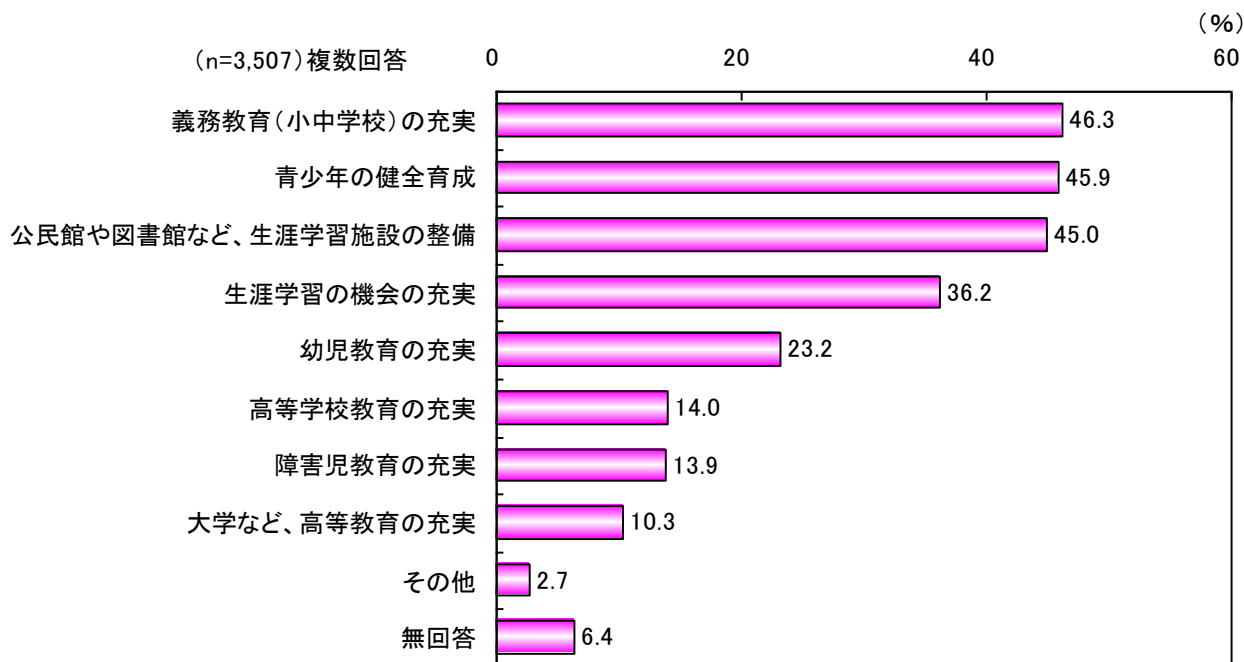
○その一方、「崖崩れ対策の推進」、「墓地の整備」、「水害対策の推進」、「消防体制の整備」が少なくなっています。

(5) まちの利便性・賑わい



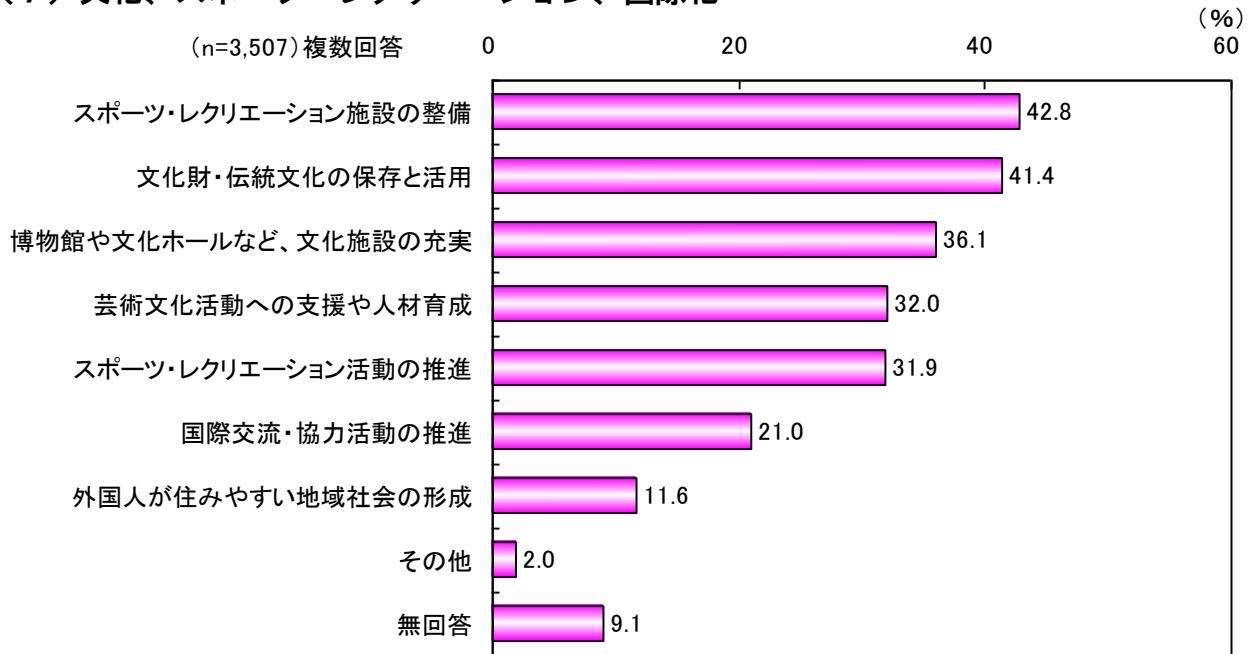
- 「バスの利便性の向上」が最も多く、次いで「良好な都市景観の形成」、「区役所や駅周辺など各区の拠点の整備」、「千葉駅や中央公園を中心とする千葉都心の整備」となっています。
- その一方、「蘇我駅周辺を中心とする蘇我副都心の整備」、「海浜幕張駅を中心とする幕張新都心の整備」、「都市モノレールの利便性の向上」が少なくなっています。

(6) 教育・生涯学習



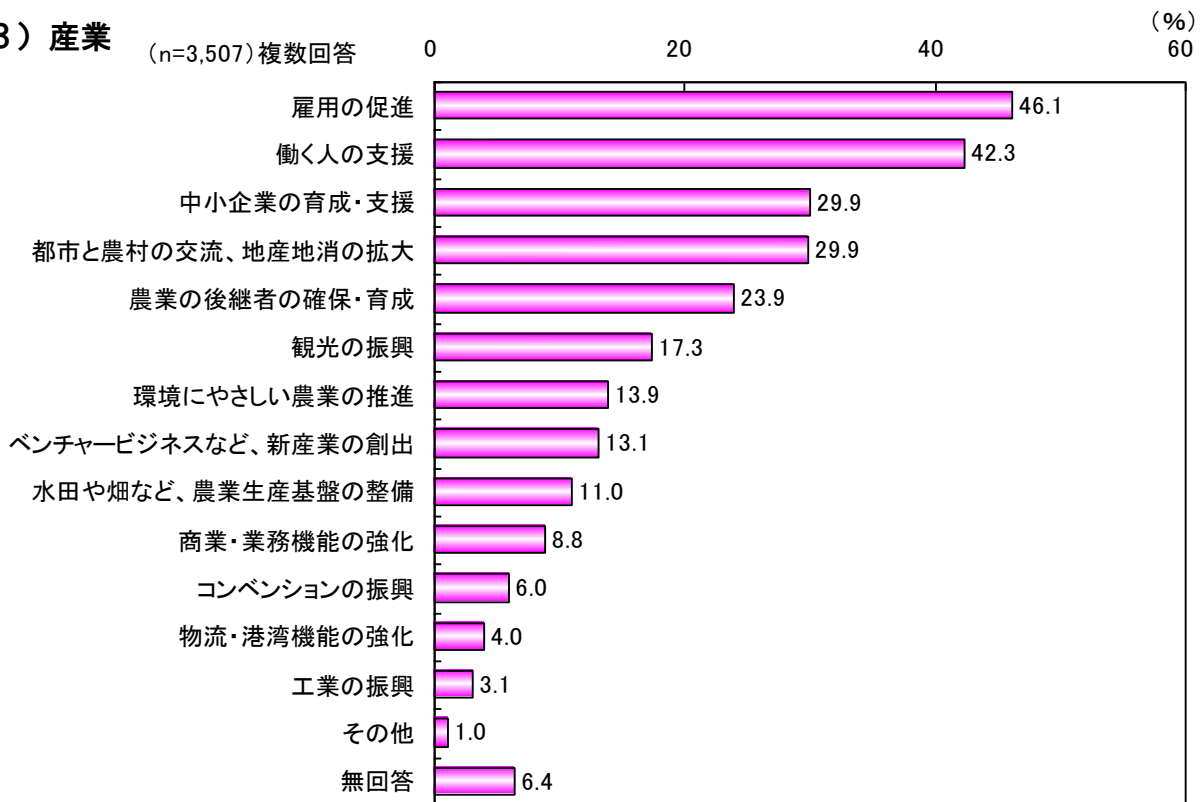
- 「義務教育(小中学校)の充実」が最も多く、次いで「青少年の健全育成」、「公民館や図書館など、生涯学習施設の整備」、「生涯学習の機会の充実」となっています。
- その一方、「大学など、高等教育の充実」、「障害児教育の充実」、「高等学校教育の充実」が少なくなっています。

(7) 文化、スポーツ・レクリエーション、国際化



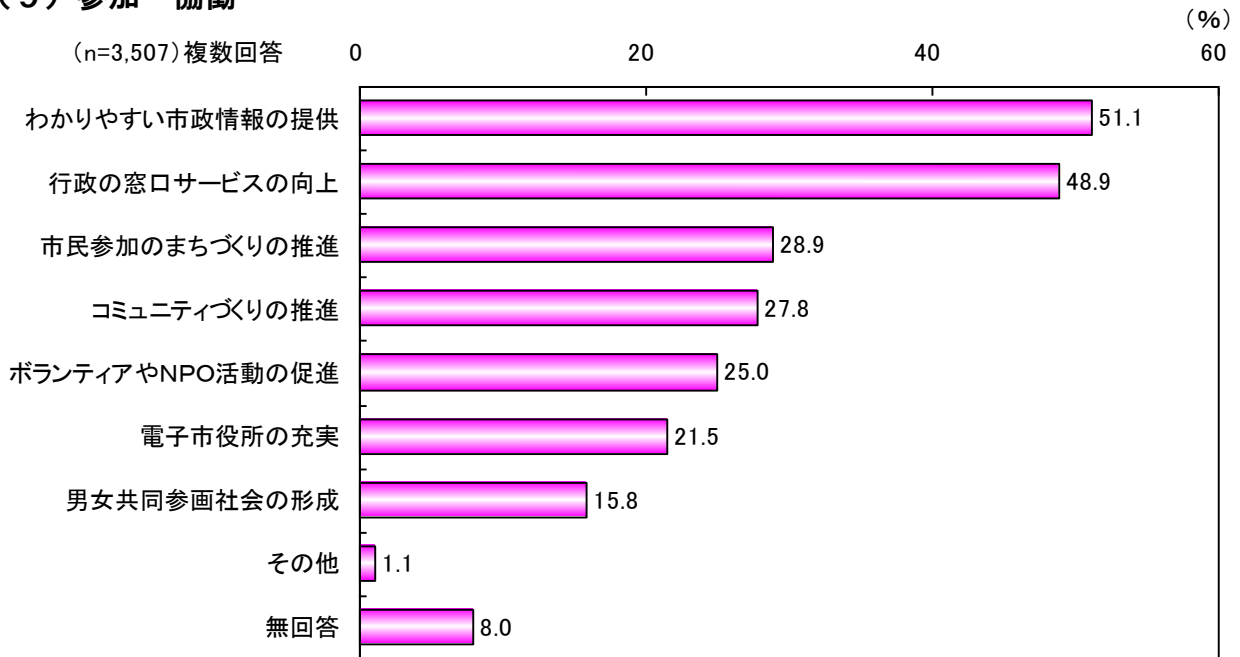
- 「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が最も多く、「文化財・伝統文化の保存と活用」、「博物館や文化ホールなど、文化施設の充実」が多くなっています。
- その一方、「外国人が住みやすい地域社会の形成」が少なくなっています。

(8) 産業



- 「雇用の促進」が最も多く、次いで「働く人の支援」、「中小企業の育成・支援」、「都市と農村の交流、地産地消の拡大」が多くなっています。
- その一方、「工業の振興」、「物流・港湾機能の強化」、「コンベンションの振興」、「商業・業務機能の強化」が少なくなっています。

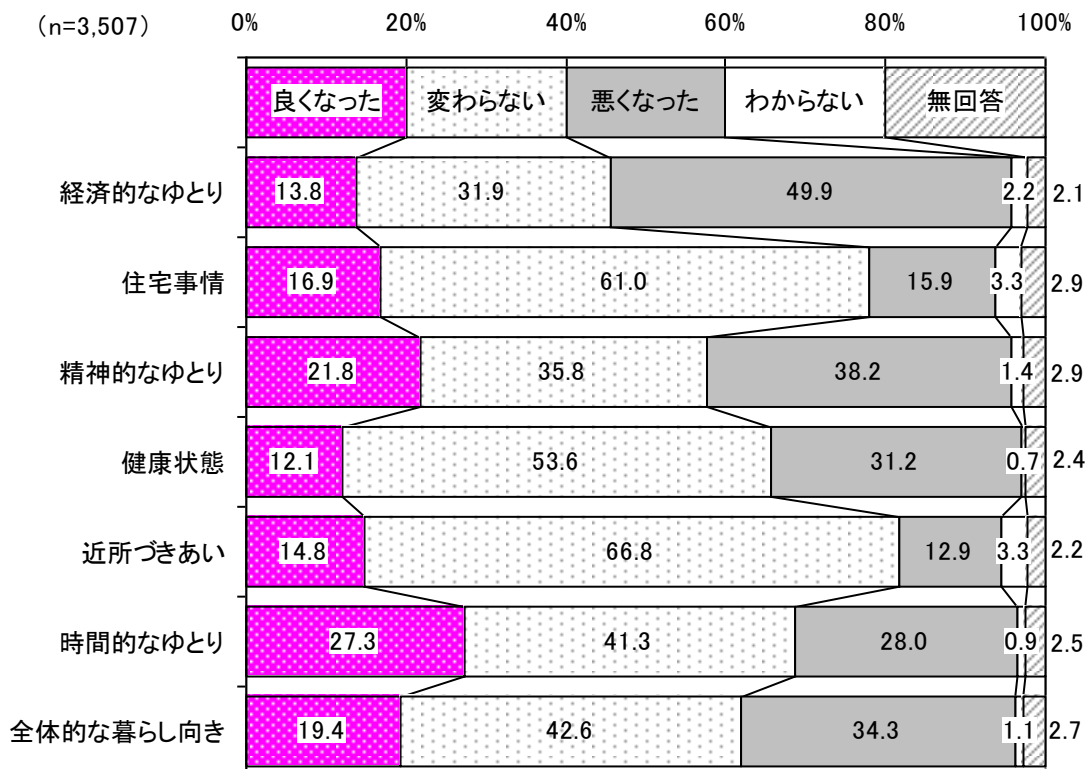
(9) 参加・協働



○「わかりやすい市政情報の提供」が最も多く、次いで「行政の窓口サービスの向上」、「市民参加のまちづくりの推進」、「コミュニティづくりの推進」、「ボランティアやNPO活動の促進」となっています。

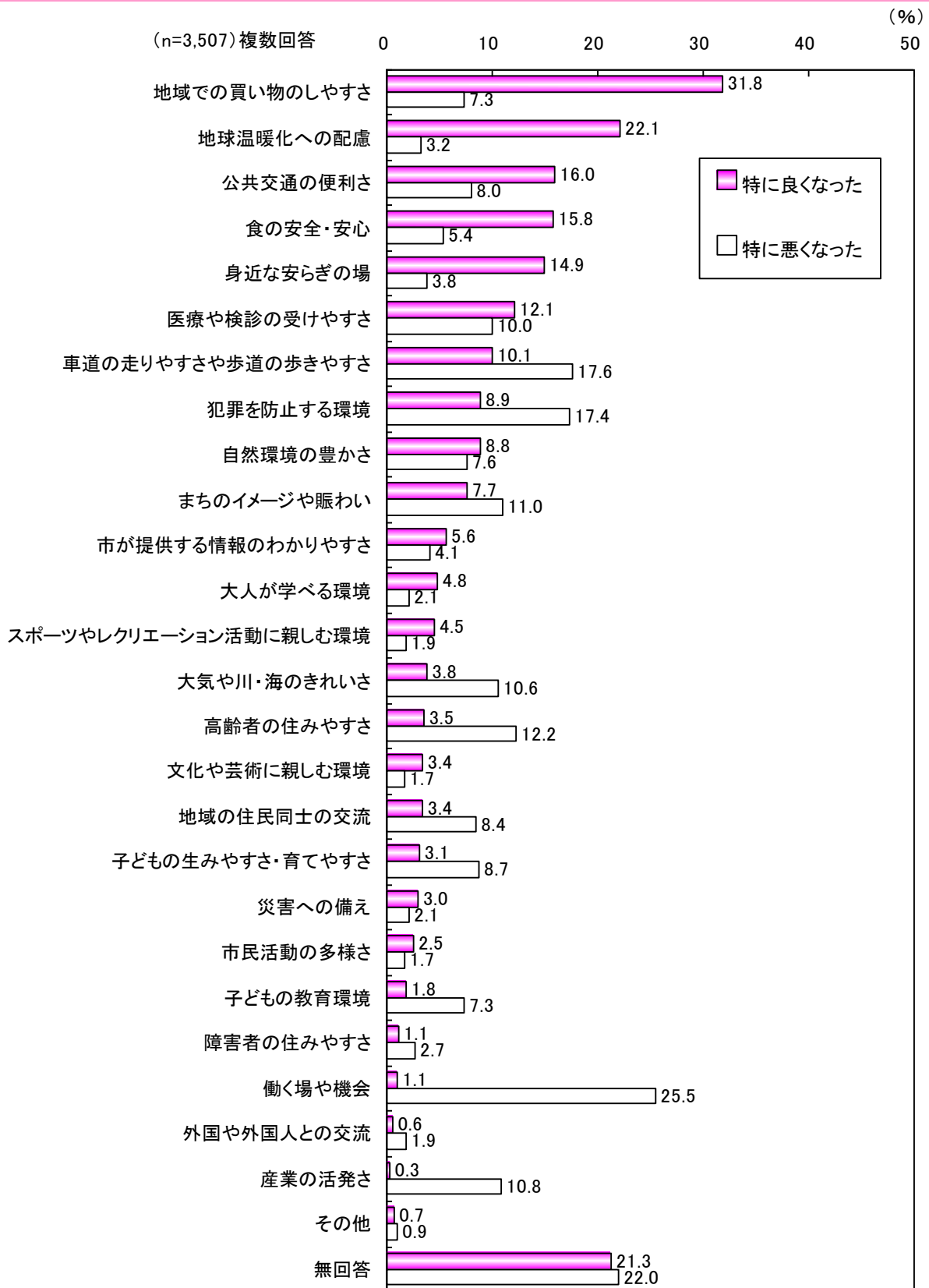
○その一方、「男女共同参画社会の形成」が少なくなっています。

4. 暮らし向きの変化（5年前との比較）



○5年前と比べた現在の暮らし向きについては、「経済的なゆとり」や「精神的なゆとり」が「悪くなった」と感じている人が多くなっています。「全体的な暮らし向き」としても、「悪くなった」と感じている人が多くなっています。

5. 生活環境の変化（5年前との比較）



○5年前と比べて千葉市の生活環境で特に良くなった点としては、「地域での買い物のしやすさ」が最も多く、次いで「地球温暖化への配慮」、「公共交通の便利さ」、「食の安全・安心」、「身近な安らぎの場」となっています。

○一方、5年前と比べて特に悪くなった点としては、「働く場や機会」が最も多く、次いで「車道の走りやすさや歩道の歩きやすさ」「犯罪を防止する環境」となっています。

**「住み続けたいまち・千葉市」をつくるために
市民1万人のまちづくりアンケート報告書**

平成21年12月

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1 千葉市企画調整局企画課

TEL 043-245-5046 FAX 043-245-5534

Eメール kikaku.PC@city.chiba.lg.jp

ホームページURL <http://www.city.chiba.jp/kikakuchosei/kikaku/questionnaire.html>